

令和 5年 7月 28日

報道機関 各位

**富大生のアントレプレナーシップ醸成に資する伊藤羊一氏の講義  
&  
「富大起業部」との意見交換のご案内**

8月2日（水）10：30～12：00、教養教育科目「富山の地域づくり」の最終講義において、武蔵野大学アントレプレナーシップ学部（略称「EMC」）長である伊藤羊一氏の講義が行われます。EMCの授業内容や学生の変化などをご紹介いただきながら、富大生に対して「夢を語ること」、「失敗をおそれずに行動すること」の意義を伝えていただきます。

また、授業終了後は、富山大学公認サークル「富大起業部」メンバーや本学教員と、伊藤羊一氏とでランチミーティングを行います。富大起業部メンバーが考えているビジネスコンセプトの相談や、富山大学でのアントレプレナーシップ教育の可能性などについて意見交換する予定です。

下記のとおり開催致しますので、取材・報道方宜しくお願い申し上げます。

## 記

### ■富山の地域づくり 最終講義

日時 : 令和5年8月2日（水） 10：30～12：00  
場所 : 富山大学 五福キャンパス 共通教育棟 D11 番教室  
履修者数 : 87名

### ■「富大起業部」などとの意見交換会<ランチミーティング>

日時 : 令和5年8月2日（水） 12：00～13：00  
場所 : 富山大学 五福キャンパス 共通教育棟 A22 番教室  
参加者 : EMC 伊藤羊一氏  
富大起業部 岡田航明（大学院2年）、平野匠人（経済3年）、  
久高諒也（経済2年）他  
富山大学教員 3名程度

### 【本件に関する問い合わせ先】

富山大学 地域連携推進機構 地域連携戦略室 塩見 TEL. 076-445-6960

授業科目名(英文名) / Course title	富山の地域づくり / Regional Development Efforts in Toyama				
担当教員(所属) / Instructor	塩見 一三男(地域連携推進機構)				
授業科目区分 / Category	教養教育科目 総合科目系				
地域課題解決型人材育成プログラム科目 / COC+Course	-	授業種別 / Type of class	講義科目		
開講学期曜限 / Period	2023年度 / Academic Year 前期 / Spring 水/Wed 2	対象所属 / Eligible Faculty	教養教育科目		
時間割コード / Registration Code	106951	対象学年 / Eligible grade	1年,2年,3年 ,4年	単位数 / Credits	2.0
ナンバリングコード / Numbering Code	1X1-00041-2900				
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど) / Contact	塩見 一三男 電話番号: 076-445-6960				
オフィスアワー(自由質問時間) / Office hours					
Moodleコース統合時間割コード / Moodle course join Registration Code	106951				
Moodleコース登録教員名 / Moodle course registered Instructor	塩見 一三男				
MoodleコースURL / Moodle course URL	<a href="https://moodle51.u-toyama.ac.jp/course/view.php?idnumber=2023_106951">https://moodle51.u-toyama.ac.jp/course/view.php?idnumber=2023_106951</a>				
各種教育プログラム1 / Various Educational programs1					
各種教育プログラム2 / Various Educational programs2					
各種教育プログラム3 / Various Educational programs3					
各種教育プログラム4 / Various Educational programs4					
各種教育プログラム5 / Various Educational programs5					
リアルタイム・アドバイス / Real-time advice	更新日				
授業のねらいとカリキュラム上の位置付け(一般学修目標) / Course Objectives	教育目標 / Educational Goals				
<p>本授業は、地域に対する問題意識を持ち、創造的な課題解決能力を発揮できる人材を育成するための教育プログラム「地域課題解決型人材育成プログラム」に位置づけられた授業となります。</p> <p>現在、わが国は人口減少のために、地域において様々な困り事(地域課題)が生じています。本授業においては、皆さん自身が地域課題解決に取り組むイメージを持つこと、富山県や出身地などの皆さんの身の回りで生じている地域課題を理解すること、そして、地域課題解決につながる行動から得られる気づきの重要性を理解すること、の3点をねらいとします。</p> <p>特に は、地域課題解決につながる「アントレプレナーシップ(起業家精神)」の重要性を授業を通して体感してもらうこととなります。「アントレプレナーシップ」というと、起業やスタートアップなどのビジネスの世界に限定した考え方と思われがちですが、実はそうではありません。地域課題解決の取り組みも含め、全ての人々に必要なマインドセットであることを理解してもらいます。</p> <p>授業は、知識を伝達するための「講義」は行いますが、それ以上に、履修生自身が主体的に学習する「個人ワーク」や「グループワーク」の時間を多くとることを考えています。また、履修生が主体的に学外に出てもらう「フィールドワーク」や、その結果を発表する「ポスターセッション」を行います。詳しくは授業の中で説明します。</p>					
達成目標 / Course Goals					

次の2点を達成目標としています。

富山県や出身地など、自分たちの身の回りで生じている人口減少に起因する地域課題について、自らの言葉で説明できるようになる

経験したからこそ得られる「気づき」の重要性を理解した上で、授業後も履修生自身が興味を覚える事項（地域課題解決ではなくても良い）について、経験を続けるマインドセットを持ってもらう

#### 授業計画（授業の形式、スケジュール等）/Class schedule

スケジュールは以下となりますが、外部講師（ゲストスピーカー）の都合等により内容を変更する場合があります。変更がある場合は、授業及びシラバス上で通知します。

##### <自分自身を知る>

第1回 4/19・水 授業計画を理解する（ガイダンス）

第2回 4/26・水 自分の軸を探る（自分と地域の関係）

第3回 5/10・水 コミュニケーション力を養う（地域に溶け込むスキル）<ゲストスピーカー：合同会社ハピオブCEO島田勝彰氏>

第4回 5/17・水 挑戦と失敗の意義を理解する（アントレプレナーシップ入門）<ゲストスピーカー：バブソン大学経営学部4年 金森琥珀氏>

第5回 5/24・水 在学中に何かを始めるイメージを持つ（現役学生起業家の体験談）<ゲストスピーカー：富山大学大学院2年、（株）Doot 代表取締役 岡田航明氏>

##### <地域課題を知る>

第6回 5/31・水 自分のまわりの地域課題を知る（人口減少・地方創生）

第7回 6/7・水 富山県の地域課題を知る（「スケッチラボ」が扱う地域課題）<ゲストスピーカー：富山市スマートシティ推進課 課長代理 中村圭勇氏>

第8回 6/14・水 富山県の地域課題を知る（「タカポケ」が扱う地域課題）<ゲストスピーカー：Ceica 代表 升方芳美氏>

第9回 6/21・水 富山県の地域課題を知る（「ヒミビズ」が扱う地域課題）<ゲストスピーカー：氷見市ビジネスサポートセンターセンター長 岡田弘毅氏>

##### <地域課題を深く知るために行動する>

第10回 フィールドワーク（5/1授業分）

第11回 フィールドワーク（6/28授業分）

第12回 フィールドワーク（7/5授業分）

##### <気づきの共有・フィードバック>

第13回 7/12・水 フィールドワークの共有（ポスターセッション） 会場：学生会館ホール

第14回 7/26・水 フィールドワークのフィードバック

##### <大学生の背中を押す>

第15回 8/2・水 特別講演 大学生が「夢を語る」「行動する」ことの大切さ

（仮）<ゲストスピーカー：武蔵野大学アントレプレナーシップ学部長 伊藤羊一氏>

##### フィールドワークのテーマ（仮）

富山県の地域課題を深く理解するために現場に出かけてください。

そして、

地域課題の現場をみてください

その現場において地域課題に関連する事象をカウントしてください

その地域課題について誰かと話してください（当日現場で聞くこと、後日誰かに聞くことのいずれも可能）

最後に、

上記のプロセスからの“気づき”をまとめてください

##### <補足説明>

はどのような内容でも結構です。

を重視しています。皆さん自身が自分たちで考え、行動されたからこそその気づきです。気づきは地域課題に限定しません。

訪問場所や日時は各グループで任意に決めて結構です。

グループ全員が同時に現地視察に行けない場合は複数回としても結構です。

履修生から紹介があれば、地域課題や訪問場所などを照会します。

～の結果をポスターにまとめて提出ください（A4縦サイズでファイルを作成、ポスターサイズへの印刷は教員が行う）。

上記について、授業10回、11回、12回の3回分を使ってください。

そのポスターを使って、13回目の授業でポスターセッションを行います。

#### 授業時間外学修（事前・事後学修）/Independent Study Outside of Class

各授業終了後、次週の授業内容に応じた事前学修テーマを課しますので、インターネット情報検索等によって調べ、期日までに提出してください（1時間程度/回）。

各授業終了後、当日の授業内容に応じたレポートを課しますので、授業内容を振り返った上で、期日までに提出して下さい（2時間程度/回）。

キーワード / Keywords	<p>授業内容 人口減少，地域課題，地域再生，アントレプレナーシップ，地域の稼ぐ力，ローカルビジネス，地域金融機関，コンパクトシティ</p> <p>授業形態 アクティブラーニング，ICT活用，実務経験教員科目</p>
履修上の注意 / Notices	<p>Googleスプレッドシート等を使います。教室には，パソコンやタブレット等を持参してください。</p> <p>90分間の授業のうち，講義は約1/3（30分程度）とし，残りの時間（60分程度）はグループワークを行います。</p> <p>本授業は座席は指定制（原則，毎回変更）とし，様々な履修生とグループワークを行っていただきます。</p> <p>講義資料はMoodle上に掲載し，授業では紙媒体の配布はしませんので，あらかじめ各自のPCに保存するか，印刷する等して活用下さい。</p> <p>欠席が複数回にわたる場合や，事前学習のレポート，授業後のレポートの提出がなされない場合は，単位の修得は困難となります。</p>
教科書 / Required Text	
参考書 / Required Materials	
教科書・参考書に関するその他通信欄	特に定めなし。毎回必要な資料は配付し，参考文献なども適宜紹介する。
成績評価の方法 / Evaluation	<p>成績評価の情報源と配点割合 各授業のレポート：30% フィールドワークへの参加：30% 最終レポート：30% 授業への積極的な参加（外部講師への質問，グループワークの参加・発表等）：10%</p> <p>レポートの評価基準 自分の考えや主張（論点）がある。また，その論点が導かれるプロセスが明確で，かつ論理的である。 のエビデンスとして，各授業の基本的事項が活用されている。また，授業内容から派生した自分の経験や，独自に収集した情報源が，引用元とともに示されている。 文章の体裁・表現の推敲が行われている。</p>
関連科目 / Related course	産業観光学，富山のものづくり概論，地域再生論，地域ライフプラン
リンク先URL / URL of syllabus or other information	
備考 / Notes	

授業追加情報 / Course add information

使用言語 / Language	日本語
アクティブ・ラーニングの実施 / Active learning	実施あり
アクティブラーニングの実施内容 / Contents of Active learning	個人ワーク, グループワーク, 発表, ゲストプレイヤーとの意見交換, Googleドライブによる情報共有等
実務経験教員科目 / Work Experience teacher's subjects	該当する
データサイエンス科目 / Data Science subjects	対象外
他学部・他研究科等学生の履修可否 /	可